

栃木で支援活動

総社市、AMDA 職員ら4人派遣

関東・東北水害で被災した栃木県日光市を「と国際医療ボランティア



栃木県日光市支援のため、持参する救援物資を車に積み込む総社市職員

アAMDA（本部・岡山市）は12日、合同で職員ら4人を現地に派遣した。14日まで活動する予定。（1面関連）

総社市役所前で市職員3人とAMDA調整員1人の出発式があり、AMDAグループの菅波茂代表が「総社から駆け付けたことが被災者を励ますことにつながるとあいさつ。代表して市総務課の藤原直樹課長補佐が「甚

大な被害が各地で出ている。連携して支援したい」と述べた。

4人は、風呂に入れない被災者のために体を拭くウエットティッシュやばんそうこうなどを持参。12日は日光市役所で職員から被災状況を聞いた。13日は避難所での活動を計画している。

日光市では男性1人が死亡したほか、土砂災害が発生している。

総社市とAMDAは2009年に連携協定を結んでおり、合同支援活動を行うのは昨年の広島土砂災害などに続き6回目。総社、日

光岡市長に交流があったことから派遣要請を受けた。（民直弘）

●本社HPに動画